

| ス 覆 工 パ ン | 34S | 40S | 41S | 42S | 44S |
|--------------------------------------|---|---|--|---|--|
| 変 形 形 状 | | | | | |
| 変 状 パ タ ー ン | <ul style="list-style-type: none"> トンネル幅員方向の内空幅は拡大傾向に見える。 トンネル高さ方向の内空高さは縮小傾向に見える。 | <p>⑧はターゲットが移動した可能性があるため表示していない。</p> <ul style="list-style-type: none"> トンネル幅員方向の内空幅は拡大傾向に見える。 トンネル高さ方向の内空高さは縮小傾向に見える。 | <p>①はターゲットが移動した可能性があり、②は覆工セン断ブロックの変位を捉えているため表示していない。</p> <ul style="list-style-type: none"> トンネル幅員方向の内空幅は拡大傾向に見える。 トンネル高さ方向の内空高さは縮小傾向に見える。 | <p>②は覆工セン断ブロックの変位を捉えているため表示していない。</p> <ul style="list-style-type: none"> トンネル幅員方向の内空幅は拡大傾向に見える。 トンネル高さ方向の内空高さは縮小傾向に見える。 | <ul style="list-style-type: none"> トンネル幅員方向の内空幅は拡大傾向に見える。 トンネル高さ方向の内空高さは縮小傾向に見える。 |
| 平 均 変 位 速 度 | <p>各計測ポイントの変位速度の平均値</p> <p>H13年7/7 (初期値)</p> <p>H14年 3/9</p> <p>H17年5/10</p> <p>2.1 mm/年</p> <p>1.5 mm/年</p> | <p>各計測ポイントの変位速度の平均値</p> <p>H13年7/7 (初期値)</p> <p>H14年 3/9</p> <p>H17年5/10</p> <p>3.9 mm/年</p> <p>0.0 mm/年</p> <p>水抜ホ-リング</p> | <p>各計測ポイントの変位速度の平均値</p> <p>H13年7/7 (初期値)</p> <p>H14年 3/9</p> <p>H17年5/10</p> <p>H鋼支保工、金網水抜ホ-リング</p> <p>2.6 mm/年</p> <p>ロックホルト水抜ホ-リング</p> | <p>各計測ポイントの変位速度の平均値</p> <p>H13年7/7 (初期値)</p> <p>H14年 3/9</p> <p>H17年5/10</p> <p>H鋼支保工、金網水抜ホ-リング</p> <p>2.7 mm/年</p> <p>ロックホルト水抜ホ-リング</p> | <p>各計測ポイントの変位速度の平均値</p> <p>H13年7/7 (初期値)</p> <p>H14年 3/9</p> <p>H17年5/10</p> <p>5.9 mm/年</p> <p>1.3 mm/年</p> |
| 図 計 測 の 表 示 方 法 | <ul style="list-style-type: none"> 計測は、平成13年7月7日に開始。平成14年3月9日まで1回/1月の頻度で実施し、その後平成17年5月10日に実施した。 「変形状」欄の図は、仮想原点を不動と仮定し、調査日における仮想原点からトンネル横断面内の変位のうち、覆工内側への変位を「-」、外側への変位を「+」として表示した。 | | | | |

内空変位計測結果